

# ADVOCATE

Japanese Society of Health Promotion : JSHP

日本ヘルスプロモーション学会公式ホームページ <http://www.jsHP.net/>

# 6

第6号

日本ヘルスプロモーション学会  
2005年4月1日発行  
発行者 島内憲夫  
編集者 吉岡康

学会事務局  
〒270-1695  
千葉県印旛郡印旛村  
平賀学園台 1-1  
0476-98-1118 (tel/fax)  
jimukyoku@jsHP.net

\* advocate「アドボケート」とは、ヘルスプロモーションに関するオタク憲章の中に書かれている3つのプロセスの第一番目「唱道」のことで、

## 巻頭言

### 子供たちのヘルスプロモーション

常任理事/広報委員長 吉岡 康 (千葉県保健福祉部)



新しい年度を迎え、会員の皆様には、新たな気持ちでヘルスプロモーション活動に取り組んでいらっしゃると思います。今後の展望を開いていくために昨年度を振り返って見ますと、感染症、台風、地震など、健康を希求する当学会にとっては、数年分の課題が一度に押し寄せてきた一年でした。このような時期にあって、社会に対する私達の役割は非常に大きいものがあると思います。特に、ヘルスプロモーションの展開にとって必要な「住民参加・参画」と「分野間協力」を達成するために、大学等の研究者だけでなく、国、地方自治体の行政担当者、市民、学生などの幅広い層を会員としていることが、有利な条件となっています。会員の皆様が取り組んでいらっしゃるヘルスプロモーション・プログラムを自信を持って推進していただきたいと思います。

私がいま取り組んでいるのは、ヘルスプロモーションの考え方の普及です。ヘルスプロモーションの活動にはいくつかの専門用語があり、この「アドボケート」上にもヘルスプロモーション・プログラマーとして、毎号いくつかのヘルスプロモーションの基

礎概念を表す用語が掲載されています。広く一般の方々に理解していただくために、この用語を単独であるいは組み合わせた形で、日常の生活のある場面を想定し、その中で日常のエピソードを用いて解説していくものです。読者としては小学校4年生から中学1年生を対象にしています。成人に対しては、島内会長らによる入門書がありますが、未来を担う子供たち向けという訳です。私はこの事業を学会の一つの普及活動と位置付け、堅苦しい名称になってしまいましたが、ヘルスプロモーション理論研究会のテーマの1つとして取り組んでいます。会員の皆様も、「唱道」はこのような場面で、このような子供達のエピソードを例に出せばわかりやすい等、よいアイデアがありましたら、是非お知らせください。本当はお知らせいただくだけでなく、一緒に部会活動を進めていただきたいと思います。当部会の他にも、部会があります。興味のある部会には積極的に参加していただきたいと思います。

年度の初めにヘルスプロモーション学会の更なる発展を期待しています。

### \* 学会員の皆さまへ年会費納入のお知らせ \*

平成17年度の年会費納入をお願い申し上げます。納入期限は設定しておりませんが、なるべくお早めに所定の金額をお支払いください。一般会員3000円、学生会員1000円、賛助会員一口10000円です。円滑な学会運営のためにも、早めの納入にご協力をお願いいたします。

振込先: 郵便局: 00180-3-571047 日本ヘルスプロモーション学会

\* 会費の納入につきましては、本号同封の払込用紙をご使用ください。

# 特集

## 第3回学術大会のお知らせ

去る3月1日、九州歯科大学病院2階会議室において、第3回学術大会にむけての第1回実行委員会が開催され、プログラムが決まりました。なお、詳細につきましては大会事務局より改めてご案内いたします。

日本ヘルスプロモーション学会  
**第3回学術大会・総会**  
 ご案内(第2報)

「ヘルスプロモーション-健康づくり・原点を振り返って-」

と き：2005年11月19日(土)・20日(日)  
 場 所：北九州国際会議場 2F「国際会議室」  
 JR小倉駅北口(新幹線口)徒歩7分  
 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目9-30  
 TEL 093-541-5931 FAX 093-541-5928  
 講演, シンポジウム, ワークショップ会場「国際会議室」2F  
 ポスター会場「サブホワイエ」2F  
 懇親会場「レストラン ラ・ブラージュ」2F

【11月19日(土)】

大会長講演 2F「国際会議室」  
 「途上国におけるヘルスプロモーションの取り組み-ネパールでの歯科保健16年の経験から-」  
 講師：中村修一(九州歯科大学国際交流・協力室)  
 座長：深井穂博(深井保健科学研究所所長)  
 特別講演 2F「国際会議室」  
 「台湾におけるヘルスプロモーション活動」  
 講師：鄭 恵美(国立台湾師範大学教授・台湾ヘルスプロモーション・健康教育学会事務局長)  
 座長：照屋博行(福岡教育大学教授)  
 総会 「国際会議室」2F  
 シンポジウム「セッティングズ・アプローチ(settings approach)から見たヘルスプロモーション 順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センターからのメッセージ」 「国際会議室」2F  
 コーディネーター：島内憲夫(順天堂大学)  
 懇親会 九州国際会議場内「レストラン ラ・ブラージュ」

【11月20日(日)】

ポスターセッション活動報告 「サブホワイエ」2F  
 座長：西本美恵子(NPO 法人ウェルビーイング代表)  
 ワークショップ 「国際会議室」2F  
 「健康なまちづくりの現場からヘルスプロモーションを考える」  
 コーディネーター：中村譲治(九州歯科大学臨床教授・NPO 法人ウェルビーイング常務理事)

【大会事務局】

九州歯科大学国際交流・協力室(担当：辻澤増美)  
 TEL：093(582)1131 内 6632 Email：motoyama@kyu-dent.ac.jp

# 会員の声

会員 井口 明彦

こんにちは、井口明彦と申します。大学院生として島内先生の下でヘルスプロモーションを学び、修了を迎えましたのでご報告と展望を兼ねて「会員の声」に投稿させていただきます。まずは学会を通じてお世話になった方々へお礼を申し上げます。この学会には行政や研究者、民間の方々が参加されており多くの刺激を受けました。また、学術大会ではユニークな一面も垣間見られたのがとても印象的です。これからは研究室を離れ、社会に出ることになりま

すが、日本ヘルスプロモーション学会が遠い存在になるとは感じておりません。ヘルスプロモーションには理論と実践を含め様々な部門の対話が求められるからです。これは現場で活躍されている方々が語る「ヘルスプロモーションを知る前からヘルスプロモーションをしていた」というフレーズからもそうしたことが伺えます。さらに、この学会が「行動を目指す学会」であることから実践の重要性が位置づけられています。これはヘルスプロモーションの判断は、政治や経営と同じように何を成し遂げていくかにより左右される性格があるからです。最後に、ヘルスプロモーションはそれぞれの立場によって求められることが変わってきます。これからの自分の立場をフルに活かし、学会におけるひとつの課・省庁のようにお役に立てればと思っています。

## 新連載

NORIの

ヘルスプロモーターティング・ツーリズム

会員 田口 師永

日本ツアーが終了して早一年、街から街への移動生活にも慣れました。バンクバー、カルガリー、シドニー、ブリスベン、オークランドを経て、現在メルボルンにて公演しています。最初の文章をこの街からお届けできることは、なんと運命的なことでしょう。というのも、今まで訪れたどの街よりも素敵で、日ごとにその思いは強くなっているからです。足を延ばしたくなる広い芝生の公園、歩きたくなる川沿いなど、そういう街づくりをしているのか、緑や川が人に近いのです。テントまでの川沿いの道では、ジヨギングやサイクリングをする多くの人を見かけます。空の青さ、雲の白さ、きれいな川の流れ、詩的な並木道、風の匂いが運ぶ季節の移ろい、積極的に運動する人々……。これらを毎日感じるだけでも、自分の中にある健康を呼び起こしてくれる気がします。この街で感じる心の健康が、きちんとフィードバックされ、ステージでのいい影響となっているように感じています。

田口師永 たぐちのりひさ  
国際的エンターテインメント、シルク・ドゥ・ソレイユ（本拠地カナダ）日本人初のアーティスト。キダムではスキッピンググループ（縄跳び）を披露しており、現在世界各国をツアー中。



ヤラ川を望む

Photo by NORI

# 研究部会であなたの活動を生かしてませんか

わたしたちと一緒に活動してみませんか。

健康疫学研究部会 社会のニーズを戦略的に 鍵谷英明 kgtn@mti.biglobe.ne.jp
ヘルスプロモーション理論研究部会 あたらしい健康のはなし 吉岡康 yfamily@aa.cyberhome.ne.jp
コミュニティ健康づくり研究部会 人と人との交流から生まれ・創られる健康づくり 笠井喜久雄 kenkou@city.shiroi.chiba.jp
健康社会科学研究部会 健康をつくっているハッピーファクター研究 助友裕子 hiroko_suketomo@hotmail.com
国際協力研究部会 地球上に生活するすべての人々の健康と幸せを願って 湯浅資之 yuamokun@yahoo.co.jp

\*活動の詳細は、ADVOCATE4号で紹介されました。

## 「日本ヘルスプロモーション学会の展望」

本会学会長の島内憲夫先生が、医学書院の専門誌『公衆衛生』2004年9月号(68巻9号 pp.700-702)に日本ヘルスプロモーション学会の展望についてご執筆されています。これは、特集テーマ 各方面で進む「ヘルスプロモーション」が取り上げられた中で、学際的領域の取り組みの代表的な例として取り上げられた記事でもありました。

## 「会員の声」を募集しています

会員の皆様の身の回りの活動、日頃思うこと、ニューズレターに対するご意見、学会に対するご意見等、何でも結構です。皆様の「会員の声」を通じてヘルスプロモーションに対する想いを共有しませんか? 下記アドレスまで、原稿をお待ちしております。  
jimukyoku@jshp.net

### 平成 16 年度会計報告

#### < 収入の部 >

項目	内容	金額	備考	
平成 15 年度繰越金		217,093		
学会費	年会費	賛助会員	20,000 賛助会員@10,000×2名	
		一般会員	300,000 一般会員@3,000×100名	
		学生会員	10,000 学生会員@1,000×10名	
		入会	賛助会員	10,000 賛助会員@10,000×1名
		一般会員	96,000 一般会員@4,000×24名	
		学生会員	15,000 学生会員@1,500×10名	
			(*会費未納者 44名)	
収入合計		668,093	[A]	

#### < 支出の部 >

項目	内容	金額	備考
通信費	封筒代(印刷費含む)	27,405	
	ヤマト便	57,190	
ニューズレター作成費	印刷費	11,413	(振込手数料 110)
	広報資料等作成費	34,000	
事務局経費	リーフレット印刷費(500部)	19,320	(振込手数料 420)
	プロバイダ更新費	120,000	(10,000×12カ月)
学会誌作成費	事務局作業人件費	26,000	(3,000×7人、5,000×1人)
	第2回総会支援費	264,757	
支出合計		560,085	[B]
次年度繰越金([A] - [B]) =		108,008	

トピックス

Vol.5

## ヘルスプロモーション グlossary

9. ヘルスリテラシー (Health literacy): 社会に通用するようなスキルをあらわす。アクセスの獲得は、個人の動機と能力によって決定されるため、良い健康状態を創り維持するための方法論を理解し実践することが必要である。(WHO 1998)

10. 健康のための唱道 (Advocacy for health): 個人と社会の活動を統合することにより、政治的コミットメント、政策支援、社会的受容、制度的支援の拡大が図られ、特に健康やそのプログラムのために有益である。(WHO 1998)

編集後記 一年の中で最も過ごしやすい季節がやってきました。同時に、新しい環境に移られた方もそうでない方も気持ちは新年度と共にリフレッシュされたのではないのでしょうか。私もこの時期はなぜかウキウキしています。さて、当学会運営も三年目に入り、今年度は役員選挙の年に当たります。多くの会員の皆様による学会運営を望むと同時に、ニューズレターADVOCATEへの活発なご投稿を願っております。私の方から原稿依頼させていただくことあると思いますのでよろしく願います。(助友)  
©本印刷物の無断転載を禁じます。